



綿抜豊昭 Toyoaki WATANUKI

教授 Professor

博士 (文学) Ph.D.

Keywords: 日本文化

Contact: wata@slis.tsukuba.ac.jp

IMAGINE  
THE  
FUTURE.



筑波大学  
University of Tsukuba

Graduate  
School of  
Library,  
Information and  
Media Studies

## 研究概要

「日本文化研究」という全体的な視点のもとに、部分的・具体的には次の研究を進めている。

- ①書籍を基礎資料としての研究 (具体的には図書館学や図書館文化史等)
- ②短詩型文芸を基礎資料としての研究 (具体的には和歌、連歌、俳諧等作品とその作者等)
- ③絵画を基礎資料としての研究 (具体的には浮世絵や版本の挿絵等)

④芸道を対象とした研究 (具体的には小笠原流礼儀作法、いけ花等)

⑤料理関係を対象とした研究 (具体的には料理人、日式料理、料理法等)

以上を個々に研究対象とする場合もあるが、例えば小笠原流礼法書に記された婚礼料理とそれに付された和歌や絵図を通して伝統的料理文化について考察するなど、複合的に研究を進める場合もある。

www.slis.tsukuba.ac.jp



## 論文

- 1) 単著『江戸の「百人一首」』富山市教育委員会、2016
- 2) 単著『図書・図書館史』学文社、2014
- 3) 単著『戦国武将と連歌師』平凡社、2014
- 4) 共編『〈加賀料理考〉』桂書房、2009
- 5) 共編『絵で見る明治・大正礼儀作法事典』柏書房、2007年

## 社会貢献活動

2017年、筑波大学附属図書館での特別展示「江戸の遊び心—歌川国貞の描く源氏物語の世界—」にかかわり、特別展図録『江戸の遊び心—歌川国貞の描く源氏物語の世界—』に寄稿、関連講演をした。また同年、図書館情報メディア系社会貢献事業「つくば観光振興のためのコンテンツ開発」での、展示(於・筑波大学メディアユニオン)資料提供及び講演(演題「筑波山と文学—和歌・連歌など—」)をした。

## メッセージ

本研究室で研究をするのであれば、①日本文化に強い興味と関心を持っていること、②日本語の読み・書き・理解に堪能であること、③研究資料として、量的にある程度まとまった資料で、その内容は日本文化関連の資料で、記述が信頼のおける資料を入手、もしくは調査できること、④コンピュータの基本的なソフト(エクセル他)であれば十分に使いこなすことができること、⑤コンピュータで画像処理がある程度できること、以上5点が最低条件となる。